



①お祭りマラソンということで、本気で走る人、食を楽しむ人、仮装で楽しませる人、さまざまな楽しみ方がありました
②③④ 11のエイドステーション（水分や食料などの補給所）で、東北の食材など25品がランナーに振る舞われました



⑤食品・物販ブースは2日間とも大盛況。多くの人が舌鼓を打ちました⑥県内各地のゆるキャラもイベントを盛り上げました⑦5月の長沼の景色を楽しみながら走るランナーたち⑧サンブラザ中野くんがあの名曲「Runner」でランナーを送り出しました



Interview

参加・来場者に聞く

今日はパパが撮影で私が息子と走りました。久しぶりに走ったのできつかったですが、親子で楽しめました。これから、家族で飲食ブースを回ってきます。



安藤さん親子
(迫町新町)



及川さん一家
(迫町大形)

菅原屋の「鳥弁当」が食べたくてきました。天気がいいので一層おいしかったです。お昼を食べたので、ほかの美味しいものを探しに行きます。

インターネットを見て知りました。初めて来ましたが、長沼周辺の景色も良くとてもいい所ですね。マーボーはつとを食べました。とてもおいしかったです。



おさま
小座間さん一家
(利府町)

東北版メドックマラソン開幕

性別、年齢を問わず

食と風景と人との交流が楽しめるこのイベント

2回目の開催となった今年は

延べ2万7千人が来場し大いに楽しんだ

01

走

Run

(注) メドックマラソン：赤ワインで有名なポルドー、メドック地方で、毎年開催されるフルマラソン。補給所では、水はもちろんシャトー自慢のワインも振る舞われ、ステーキ、チーズやハムといった補給食も充実。参加者、観光客や地元民など、関係者全てが楽しめる大会として知られている。

東北風土マラソン&フェスティバル2015（同実行委員会主催）は4月25、26の両日、迫町長沼フットピア公園を主会場に開催されました。食と風景を楽しむお祭りランとして、世界的に有名なフランスのメドックマラソン（注）との企画協力を得て、本市や南三陸町など東北の特産品を食べたり飲んだりしながら走るマラソンには、国内外から昨年の倍以上となる約2700人が参加。マラソン同様、東北の特産品の飲食・物販ブースが並ぶフードフェスティバルには、延べ2万7千人が訪れました。また、東北の日本酒が勢ぞろいする東北日本酒フェスティバル、酒蔵見学や南三陸の沿岸部を巡る東北風土ツーリズムも同時開催。本市だけではなく、東北の魅力味わえるこのイベントは、ランナーも、観光客も、そして地元民も、みんながたっぷり楽しめた2日間でした。